

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年10月28日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	宮崎県教育研修センター	代表者名	金子 文雄
担当者部署	総務課教育情報担当	連絡先電話番号	0985-24-3122
担当者役職		担当者氏名	
		連絡先E-mail	
住所	880-0835 宮崎県宮崎市阿波岐原町前浜4276-729		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	藤村 裕一
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなどころがよかったか等詳細に)	ICTの利活用の在り方について、国の動向、背景、海外の動向などを踏まえながら、なぜICTを使うのか、ICTを使うことでどのような効果生まれるのかを分かりやすく説明していただいたことがよかった。また、どんな授業を目指していけばよいのか、分かりやすくポイントを押さえながら説明していただいたことがよかった。授業実践を意識した演習を用意していただき、教材の紹介、活用場面を意識した展開を準備していただいたことで、先生方が主体的・対話的な活動を行っていたとともに、深く考えながら自分の授業の改善につなげようとしていた。先生方の表情、真剣な眼差しからも先生の講義がいかに素晴らしいものかが窺えた。
アドバイザーへの要望事項	大変お世話になりました。是非次年度もお願いしたい。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年10月25日	9時30分	16時15分	105	300
3-2. 派遣場所	会場名	宮崎県教育研修センター		最寄駅	宮崎駅
	所在地	宮崎市阿波岐原町前浜4276-729			
	最寄駅からの交通手段	バスもしくはタクシー			

4. 報告書に関してのAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	小・中・高・特支の教職員	42人

5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	本県はICTの環境整備は整いつつあるものの、教職員のICT活用能力に大きな問題がある。特に授業にICTを活用して指導する能力、児童生徒のICT活用を指導する能力(全国最低)、情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力(全国最低)に問題がある。環境はあっても、活用の仕方が分からず、効果を実感できていないため、悪循環が生まれている。多忙さ・指導の不安・機器の不具合の対応ができないことも要因である。
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	先生方が、まずは授業改善としてICTを活用してみる。その後、効果的な活用につながるよう授業改善していく。先生方が実感したことを他の先生方に伝え、広がりのあるICT活用を目指していく。先生方がICTの活用について議論を深めていく中で、行政としての支援がさらに加速していくよう努める。
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	「教える」から「学習支援」のための授業を構築していくことが必要。ICTを活用するだけではだめであり、授業改善のためのICT活用でなければならない。例えば動画教材などすべて見せるのではなく、問題発見場面など使い分けをすることが大事である。新学習指導要領で求められている学習スタイルを意識し、児童生徒が問題発見して解決するような授業を構築していくことが大事である。ICTを効果的に使うことが大事である。様々な教材(LINEカード・NHK for School・アプリなど)を紹介していただいた。授業改善のために様々な国内外の事例を紹介していただいた。
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	各国の動向、国の動向を知ることにより、ICT活用の有用性、目的が理解でき、積極的に活用しようとする姿が見られるようになった。また、ICTの活用にあたって自身の授業を見直し、演習においてはICT活用のポイントを意識した授業モデルを構築していた。互いに意見を出し合うことで、よりよい授業改善にもつながっていた。不安が解消され、これから積極的に取り入れていこうとする意思、必要性を感じる感想がアンケートの結果からも見てとれた。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ④人材育成のカリキュラムやツールを策定できた
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	学校におけるICT活用、情報モラル教育等を推進していくための効果的な指導方法は、先生の講義で学ぶことはできたが、どういった研修を学校内で入れていけば広がりのある研修となるのかを議論したり、演習を取り入れながら実践したりと、具体的な校内研修の在り方を模索していく必要がある。つまり、先生方が中心となって広がる研修ができる姿にしていく必要がある。
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。別添資料にてお示しします。
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい ③现阶段では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	教師自身が積極的にICTを活用し、授業改善していく姿。校内外でICTの活用について議論し、切磋琢磨しながら教育的効果が生まれるように推進していく姿

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

